

本特集号を企画した意図は腫瘍の表面がヨード染色で染色されるか、あるいはわずかに一部分不染帯を呈する食道癌にはどのようなものがあり、その発育進展過程、診断、予後はどうかを読者に理解してもらうことであった。ごく頻度の少ないこの型の食道癌を取り上げたのは、食道粘膜切除術の局所再燃の原因解明への糸口へとの配慮もあった。主題症例を含め1例ずつ丁寧に見ていただければわかるように、特徴的な形態を呈することは明瞭である。

病理面からは期待した以上の解析がなされ、客観的な定義および発生過程推察まで迫ってくれた。X線診断、内視鏡診断の面からはその形態から組織診断まで可能との報告がなされた。超音

波内視鏡では周囲の層構造からの連続性の分析と内部エコーのモザイクパターンの認識が大切であることが強調された。組織の断層像を描出できる特徴点、現在の機種・画像からでも、粘膜下腫瘍様表在癌の特徴的な組織診断までは迫れないことには隔靴搔痒の感もある。しかし本邦でしか成しえないこれだけの精度の高い診断は、この分野の専門家たちの日々の真剣勝負の結果から生まれたものである。

今回の特集は、食道癌の中の一部の形態を示すものを対象としたが、大きな成果が得られた。本号ではsm癌が中心であったが、またそうせざるを得ない現状でもあったが、数年後には粘膜癌の段階で、同じ企画が行われることを期待している。

胃と腸

5月号(第32巻・第6号) 予告

発売予定

5月25日

定価(本体2,100円+税)

主題/早期胃癌から進行癌への進展

序説	胃癌の発育進展—その歴史が教えるもの……………癌研・内科	丸山雅一
主 題	糖鎖発現からみた早期胃癌から進行癌への進展……………福島医大・2病理	川口隆憲・他
	統計学的解析からみた早期胃癌の転移の実態—胃癌研究会から……………国立がんセンター中央病院・外科	佐野武・他
	内視鏡診断からみた早期胃癌から進行癌への進展……………社保中央総合病院・消化器科	浜田勉・他
	高齢者における胃癌の発育経過……………国立がんセンター東病院・内視鏡科	吉田茂昭・他
	集団検診からみた胃癌の発育進展……………北海道対がん協会	吉田裕司・他
主題症例	5年間の経過で0'-IIc+IIaからIIc様mp癌へ進展した1例……………新潟大・3内	本間照・他
	食道粘膜下腫瘍の経過観察中に発見されたIIa型早期胃癌の1例……………岐阜大・放射線科	塩谷真由美・他
	胃粘膜内癌が広範囲なリンパ節、骨髄、卵巣に転移し、PTTMで死亡した1例……………栃木県立がんセンター・病理	五十嵐誠治・他
	早期胃癌の長期放置例……………安房医師会病院	奥井勝二・他
リフレッシュ講座	〈胃の検査手技の基本①〉よりよいX線写真を撮るための工夫……………虎の門病院・放射線診断科	七海暁男
早期胃癌研究会症例	食道に発生したpyogenic granulomaの2例……………松山日赤・消化器科	井廻宏・他
	0-Ip+IIc型を呈した食道粘膜癌の1例……………岐阜大・3内	磯村幸範・他
症例からみた読影と診断の基礎	[Case 3]……………国立がんセンター中央病院・放射線診断部	牛尾恭輔
	[Case 4]……………川崎医大・内科	飯田三雄・他

胃と腸 (第32巻 第5号)

編集 早期胃癌研究会

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 本誌編集室直通(03)3817-5714

FAX (03)3815-7802

E-mail: itocyo@nna.so-net.or.jp

1997年4月25日発行(毎月25日発行)

1部定価(本体2,100円+税)(配送料124円)

1997年年きめ予約購読料29,600円

(増刊号4,400円を含む13冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通(03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷(株) ☎(03)3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎(03)3814-5771

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1997, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

•  <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>

• 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾を得てください。

• 医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.so-net.or.jp/medipro/igak/igakjhom.htm>

(担当) 榎兼・小松原・湯原・長谷川